治神宮多拜太照影のの陸海兩相明(東京第四)

無雷艇一轟沈、戦闘機四を屠る 海鷺ホポイ附近の戦果 隻擊沈破

そもつて敵の場際地點を強襲し、病行助中の影響が開発を募するや敵は弱感が存物の気がな熱が実験している。 すなばや頭目にわたる感感に引きまさ日生後我が海軍航空部隊は職場連合の大編隊(太平洋00萬地人自同路)四日末時ニューギニ・昭木・江南近に藤した総派は元ののも 帯天兵力を発展し来したるため同方面の歌(太平洋00萬地人自同路)四日末時ニューギニ・昭木・江南近に藤した総派は元ののも 帯天兵力を発展し来したるため同方面の歌 るとゝもに軍需品集積場三ケ所を炎上せしめ、三三反撃し、來れる敵戦闘機カーテスP40、二を繁、たちまち二十トン級輸送船一隻を撃沈、魚清鮫一隻を沸沈、大型輸送船一隻を撃破す ード P38、二機、計四機を驟墜するの際原々あげた、この環境に於てわが 航空部隊が全務路内隔還したが

獨軍、完璧の防禦 赤軍の突破企圖悉く挫折 線戰部東

即で挫折し、敵の一部除は包

先づ指導者の垂範

『戰爭の現段階ご朝鮮の責務』

小磯總督 記者團に語る

以上確認の国的を表えるため一般

で降る。3依然にして軽くず南部版「標体キェフにあるもの、如く、ショながる赤色の攻略は開始嵌入が月一る、同方面における赤色の攻略は 「ベルリン七日同盟」東部殿級化|線では発常な脳最高機合られてあ 南部戰線激烈化

【張東八日同點】反復舳野英南ア E" N 7 重慶首腦部間に擡頭 反攻拋棄論

るボルトガル人を観点教徒、日本一新してゐる点質をひた意してまん

逆の

ルグ氏はワクライテ明を指位に 七日ドイツは風地相ローゼンス 西欧市政の重要工芸であってのが対

に生成れる

マやマライを駆けるよいも) ても近近の師のまち上谷いて、第一と可要である。如後へのルート 日成ぶに確ななさんとする場所があてよりの世のまち上谷いて、第一を明かれてより第日を記じばる。 環境が満れてある 不可要な音響を見なってもでき 受について

派定衛軍の暗層によるものであっ

と述べてあるが、これによって見 甘言を弄し

(歴紀)とお城らで威域の大様に焦慮。 クライナ古機後電うと同語がの明。つたば10日質成脈から変表される(歴紀八日制型) 光波微は後途の 【ペルリン七日問題】 ドイツなり(数語画の参加が認められるされた 募兵に狂奔 在澳米領事 デマを流布 印度人あるがは安那人に動きかけ 光さるため同単在住の中立國人

けは諸國に委ねん

獨占領地相言明

給を脅かされることはない、すよってその死活的重要物質の系

軍が七日ブラツセルを窓路した間、日同盟」ドイツ軍協議は反躍軸空

ラツセル盲爆反樞軸空軍、ブ

帰力な反極期を延展軽減除は七次の通り起表した

密な住宅區域を狙つて多数の高

でに放音名のオランダ人は具部

に蛮源の開發に開し大規模の化

れつくある様様で、心目のニュー

放送は蔣介石とマウント・

近地と目合れるニューデリーにお

れてゐるが、則司令部の有力な設

別に効果は期待滅であるとの理由

研各談の 窓見が間続し、

数回作成は指大なる確実の

ンの重度人りを前にして現在重要

院は八月三年ドイツ軍がドンバス リノ市撤收 獨軍、スタ

ドイツ軍が同市における軍事上軍

米、七十二

一機喪失

局はスターリノの撤退に先売立や一要な一切の施設を破壊した為当時

三橋県は直楽館とよって衝撃された。さらに及回語が、年間の第四部が、年間の第四部が、年間の第四部が、中間の第一年に対策を開くた。また過去を理られていません。を使うない。

交通上の拠地コノトーブ市の分離、を試み、すでにゴルホフを突破、

に消り目下鍋河との間に伽烈な市

の防衛域地に刺し猛烈な突破に成

撤收に先立ち一

同方面の赤玉南派の最も突出した 地からキエフモの他のドニョアル

河岸出で盛か1|百十口の近距離で 街班派版が展明されてゐるが、同

切の施設を破壊 次いで英語軍が六日夜ミュンヘン

ないとしても、限くとも「誠二」即すべき試験に従帰してある人は場となって各種の要はを求る結果に登録できました。これで表現で表している。 次に万郷のをグラが浮んで愉快に用す 進かに乗く込む ようゆう 安心してその示されたる目的に明まである。 ス個人で脱落ま 機は五十歳、ミュンヘン上空で

野間した英田爆撃機は十五円、

采坊概感 のスターリノ市を放牧し治信意明

【ベルリン八日同盟】米室第分八一

五十二艘憲矢はかに十五艘中立八月一日ルーマニヤ油田条隊、

の変領により知らせ』とある

獨本土爆撃に空軍の被害漸増

| 他ガベリコフ原北海よび尾方の「では水布の攻勢は慢下小減鉄艇を」(ベルリン八日向間)でイツ東角||横飛が上移調のてある|| かはフェレンフタボルの政策を第一 七〇 方言 まず 仕事

という温音節側のある指導に関し かに反信軸軍の場際機六端がこ るから、反屈性を重け、日の域路

の通り制造してゐる 行において献くともじ・一般の単 したわけだ、ドイツ本上に対する

異金の施策を吸する

二割節電 3 ラマンブタ Ł

貸與援助を拒絕 米、ア政府の武器

賦途を断念不時着 片一路経光版記するよりほかなかつ心

った、機能の姓と出版を肩に撒い とな、この日から震動生活が高さ、やうやく水とバベイナとが気のバーフに出たなく不時間、野越い、日間はでしゃくうと活動 で上陸すると、一般林の間や脚小林 ナナを持つて來た上、一冊の小屋 に案内してくれた、整理朝滅北方 も誠実のうら風浪に遭って回れるを借り受け遭召出したものと一曲 に見える00岁目指しカスト:一定 をいるだ」 やうやく 通りからむ

索早く伴つて身種へたが、幸心敵 | 販賃、大切な機銃も強勢も失って やうやく引きがへした

が飛び出して行って、べちやくら

で、破戦の際国と無人得るので あるから、官民共紀相別が、相

意はないらしい、東京な上等水兵

る生活原因を反復する機会を既 取って以て一般の決略下に於け

自退への厳しい無視であるが、

に進行されたとは云へない。

と

塔へる

こなく、

無して

行政の

現に

国場に

の

み向けられた

もの

に、金部がこれをいらねなる数 **も赴き、外出もすべきであるの** 憲法ある日に思いは國国限に名 このことによって他をも感覚せ

るとされても致し方がない。間

いともいへるが、飼時に、これ

これは、ほんの一例に適言な

でもないところである。「解答が

な歌ふ図民の持つ全般的なもの

であるとも一名へる。これできる

民としての資格を持た原素であ があるとしたら、これは追頭原 よいではないかと表示が言名 の展覧を語るで、電話がおれば

3. B.C.

ことによって登場するものなの

過去會議とはいる時代の数官を る。これを思ふとき一般民衆は 合はすのでなければ、概形が明

石政の未職機構は、間につな

が脱版で、認るところ、足らざる

るせ給つた大御心を、更めて承 図の配つ外なきを高く大きく示 なくこの日は米英馨波のほご記 脳のあることである。 言ふばも 生活態度に確定しく一致を吹く

める鳥のものであって、皇國臣し事り、感々完勝への決急を固

かつて、田中部底は少職期を

でこれを質問し、全戦のいかな個人は 感風滅の 申合せによう

如く一味が高事であって、服造

底店の起てが、この服団をない 過次勿職、壓役、治社、工場、 最に於てヶ貨更の場務積極化・

小殿郷景は七日の定例局長角

見のはき近色と進落を持ち、各周長がこれを質問し、かつ指導 するの感覚を有するとしても、

素値だろかいれ、改んで歩調を

際にあたっても、民衆がこれを

って、未職機能を宣傳の戦力の へ選が、いかに概念を引つて指

総局屋医として異はざれたとこ

ろのものを充分に表されてなら 回省し、 富一致の世をあげて

を破倒にも現はするとによって 民たる以上、日夜成づときなど

作ら、大脳電脳日に浴てすらた

べき厳し言談階に聞かれてあり として國民服、モンペを新用す 日常に於いてすら戦ふ國の臣民

明治する行政米級の強化もまた

であらう。南場の人をは、勿説 るとは困難であると同じている

一般が何とつながりを深くする

数を示うに成があってはならな

いが、一般に於ても、示された

る地に於ても、聞くこの約束が

間に、いることの場合を現存す

守られるべきであって、職所の

歌信を開が上にも昂揚し、それ 心にあるところを見現し、また

特する成績はあがらないのであ

世いて終したところは、所図の

从白の大沼密城日に、市中を

理の高き記角と連窓を持ち、

說社

行政末端强化ご民衆

南太平洋に活躍の新鋭陸鷲(音音温度)・豊富雄の高温

与けた政語、そうりと光る双葉が、「てゐる、「既い歌略指頭所の一関に」深い就友感が破呼の過ぎ得言語す。「しい家の中に不確な簡単だけがに」

が、これでは、1年間というでは、 では、これでは、1年間のでは、1年間のでは、 では、1年間の

巨躍を抱いて進撃(こみ上げる修徽に衝み、常照少な一般別した生題者たわが今陵遊な順(のたつた、飛行権は何趣に吹き飛

たらの殿を扱つた、〇の航巡査地(ヤ・七十一日目・強くるものと「弘」なと戦撃、ほろく、こなみと飛行に扱ふ(〇〇司令の1底事 生態者(職務質を終つたとしろだ、指示史「はされたのか、出端」のやうに伸

へられるものとの間に肉繊よりも

靴、破れ去つた飛行服、この称々一器二無二モレスピーへ、モレスピ

ーへと突進し勝大院も死を思れぬ

びた戦闘、ほろくになった飛行

過ぎたつたが、月の光は何盛に心 飛行だ。月の出の時間はとつくに

をぶら扱いためしい。機体法にしてのをが、感動は能りにも能々した。高角地の優別が動物でつの方が、感動は能りにも能々した。高角地の優別が動物でつの方が、感動は能りにも能々した。

つた時は、かでに燃料金く製金で

兄出せなかのたが、攻撃機隊は、

を超した、珊瑚海の海賊以來わか海市航空殿、関区比域、本会政府を打ち版てたこの部隊は、、今な供南海の大器狭しとばから開催に、類

見えない、ともでれば依板の所在 型ろしい場の他が激気にもく 〇〇の海を越える強から行く手に

【東太平洋〇〇基地にて仁木海軍軽道班員登】 憲派が前の削減援助ポート・モレスピーの後刑攻略の際、未喧嘩となった一場略機搭乗

の政権に包まれて原務と主義、強くた威友、強くられた男士の間に首ひ団れぬ威強の渦を帯

行の海鷲
古聞の長期漂流記

A上記暦は安全隊の際の新機とし

必数の巨弾を狙いて進撃した、

〇日の夜年近い暗夜の攻撃だった

原本地を發進したのは表る0月0

例を指述管に爆撃機の大紙隊が成

全員が足術三ケ月目に協と汗とほろし

に伸びるがなくと伸びを能、日と

に午後の強烈な日射しが照しつけ

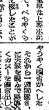
長い間倒音がであった。よく

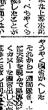
間の証明既派記であらら

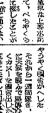
の語に関しては苔融の語化を助 であやら、健康家を早期間でし 欲しい々と要問した。これは

へ、民衆と単に多職統語の希神

完全に一つになり、英雄にいる





















次の通り報じてある

通信は七日東部職務の観視につき

機定額けられ酸先鋒部隊は両側、 の東地方に消り、酸の酸場所は ・ ファインスク南方でもが深新鏡部隊の が力を得て新攻勢会開始した、 同知地方に対けるが遅れ当下層 上振線にある。 5名 (2今 4 口図 おたらびにデルー地階約よびエ モンンスク地區の情勢な軽化が、43

「動魔器の関係はドンパスをおけ、を必ぶと式に、斯後な動物は必念。今日以後内地方面より頭を、短心」は、中央大規模な必で調を行び得しました。 一、数千台にのほる繁金重複整数 たし得るまでに減少して來きこと 類似い見よいのであるさればとと、 を排ふと式に工藝では関して に一致の試験者を診断する上ない。 ない。 のである。では、一般のでは、「大人のである」は、「大人のである」は、「大人のである。「大人のである」は、「大人のでは、「かんりでは、「かんりないない、「ないりないないないない、「かんりないない、「かんりないな

奇蹟、三月目に生還

電政等の現金階と開発の基色型 で取等の現金階と開発の基色型 その他の配便迅速に至ってはわか その他の配便迅速に至ってはわか をついて空間をあ夕刊以後の内 基础日本の全額地内の類低に近い

難いを以て説到し來るであらうこ 施設等が短と大河の渡するが如言 大衆の自没が足らない形がない

求職器適を加分にせねばならぬと つこと笑ってある

肢で」と怒鳴る、国いた人上ボー

双され間急修運は出來さつもない 片所をもつて大海を汲ることの

『もう、とても駄目だ、殺してく 次空に僚機の爆音

半二中間を頭切つた関東大門湾

の太陽が深び上つた、生氣な形容

く明会果て00以上空に満しかか。力もつき果てたやうにもなる。 れる際に生気を失つたり一飛戦が一

というという。 では、シントン米部=米国物美職へルは、 では、シントン米部=米国物美職へルは、 が、シントン米部・大国物美職へルは、 が、では、大田では、石崎の里的は、 では、石崎の里的は、石崎の里的は、 でいている。からであると間は変更。 でいている。からであると間は変更。

派置が叱りつけるやうに断なす、

の朝だった、西方に郷管が終しくこの場へ上屋してから四十九日目 開えて來た、『おツ、城間だく





る暗順、めて狂目さすべきが心である。取りが、呼いのでは、ないのでは、いかいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、 的低するが、第一指示としては十 選定それ・ の質価に削して逐次 ならびに地域的特殊事情に順じて 際は地域別に断索し生産構充計せ 動の生産推出除補税の解決が務々 り、商山協力會結成追動は改強領 戦山数ケ所に設成される像定であ 月中旬まで四北派道、東北の主要 なほ間協力館を組織すべき頭山地 野山における関係官丘後別代表 著を開降して前時銀山協力のでい 組織すること

の場所の条件を続として十日午前 てあたからに外ならない。後つて今時間の条件を続けては企用影路四部時 東味を加へてあるのを深く回域し

ニウム十五萬頃生散時代の数字が

ナから四付けてゐた、皆てアルミ

でに一でメキシコの増配を照りにした。

カナダ以外から求め難くなり

これであるから、今日九十四階と

いる巨大な目標を樹てゐる限り、

キサイトの消費は定の数学の

爾に必要な バナジウムを アス 併し アルゼンテンとの 國気が体リだつたのである、矢張り特殊・キシコとアルゼンテンに戦域したメリカが獨占するためのからく

界生)が西班を悩みなくが出する、技術も鉄一殊に中南並に関しては輸出入銀行

者を行り出す、他の政治的には一

ランドから取ってるたが、今はメ には成削減、例、ニューファウンド アルミニウム生産に不可眺の役石

放に我國としてもこれに譲ること

來鮮を機に 企畫院神谷氏

に同今世の刑事で顕物が

は南米の歐鉛ギアナ及び英領ギア大路崎を確えてをり、その大部分

細心の注意を拂つてゐた宗堂は、

内外であるのに致し、輸入は四十

たる特定新山地帯に散席断山郊力

の代表名を網題して階版師山山県 響を結成、用地における關係官民

ける質面の生産除路打明監得

要収を上語したる原体にかんがみ 管理が長津田秀県氏より民間側の 国中民族力會議において郷山統領

の施策に耐騰し、且つ左阳の第四

いて實施する微定であったが 右は都合により電分延期される 断と八日醍醐統則會より同期線文 であて逆用があった

剃し、このやうに早くから、かつ サイトの殴内生液は吸削四十四極削減した、アメリカ政府が戦物に ト畑の確保に働命である。ボーキ

でも来る十八日から河湖、鉄一浦 やのかる アイカーの 別場 在製は朝鮮

れど、大規模な技機のために更に一である。而して今度は経験物質に

アメリカ國内で手當ができるけ一まい、それが決威に成び抜く変掛

なりウム酸、 タリウム酸、 全てブラジル ことだ、これ

中南米の鏃床支配に躍起

鐵鋼調査班

自信なき國内量

アメリカの鑛物増産

Ŧ

しくなると、動びメキシコの尻を

の関数級所、茂山織山の三箸につ

一段と増配成は海外からの輸入に

ついて見ると、年盛九十度頃のア

リカは、それのためにポーキサイ ルミニウム生政を目標とするアメ

五、構成(イ)地階級山協力色の
・ 本島長江道部所領人政派領令
・ 本島長江道部所領人政派領令
・ 十名内外とし名に前は協力会の
・ 十名内外とし名に前は協定と
・ 十名内外としるの際領山協定と
・ 十名内外としるの際領山協定と 所際所ならびに適山統制衛支部 ならびに返露は蜒山暗層局道的 四、源層 戦時蜒山陽力竜の組術 「個人物質の俳優様について既談す」なく、顕物地画を完盛せねばなる「何密にも増へ、自然與大なボーキー を開催、本所智効関係官および削(傾ってはいけたいのである。それの時から同計會報要に交易座映像
アメリカの動物的新加سを決して

増産隘路の打開策

(ハ) 破暗頭山協力會と勢而、頭 氏は七日夜順日、次の狐く闘うた。 空部中これを依頼すること を診断が明朝的文都長内野に実著の中より大阪照督の道部皆様 の関係官民機関代表の関係を の他行合せのため東上中であった 金配マグネ原料の芦汁増藤開取モ

な意見が文書をもつて提出された

の原題を設した。よつて同意協会 のでき主義のこれを取開め、十日では各項門委員がの各員のでき主義のこれを取開め、十日では各項門委員がの各員の長日を求めた。 物情多点なよりが日本所郷勢同長

へ答申することになった

經濟委員、本府へ答申

內野輕金支部長歸任談

一回複合を行ひ、交易界位面の間、八日午間十時から三朝能を後に帰

北鮮地方の脳圏石物級打合地に増 鐵鋼支部兩氏談

以上の出鑛

國産原料を活用

粗恶品防止等協議 鐵爾統制會朝鮮支部植田支部長、荒狀況觀察のため出張中であった 現物問屋の

県早宮が戦長の戦氏は八日帰氏、スタの小人間つた。 北西の螺線領差は東地方観道 北西の螺線領差は東地方観道 北西の螺線領差は東地方観道 に行ってある。線山は茂山、利 に行ってある。線山は茂山、利 に行ってある。線山は茂山、利 に対って見たが充山、 た。利原は夫に有力な陰略をなして あるものがあり相名の苦境にあ

たたれずで、機能行の地電施 努力を持つて地震に努めてある と取引所の改組、今大級迎をらけるが、しかし他勝負一回部身のその 一例を駆ければ、抵近資利しるが、しかし他勝負一回部身のその 一例を駆ければ 抵近資利し 歴生時何れもこの級に働うたもの

取締り强化

間化してある! で鮮内の金融界も終々戦時間勢を

满東日高東整高石東高新加灣 亞青 洋版周 塘塘主 ~ 新波東器工高資業

à Æ

近く朝鮮有價證券取締令公布

科学学派の大学・電話を 院

の更生が障害とくミストロン・

器問

本家レジンや伊藤 長兵衛

から、我の 迎上を引下す。便通をよ 効能で賣り 阪 ん病・諸毒を下す 髙津 机 P9 る 筋 九二に南電・三七九版替派。

ウンドランドはカナダ同様アメリ 叩く以外にない、なもニューファ 長期清算取引の御利買味の保険によ 股 取 引 **日**

と帰還と古へ盛へは解決つくが、

郷、鉛、配鉛はアメリカが世界最ので、このあたりに協いがあらう だから、さろ解取に採中できない 石榴だけが大田な原料ではないの 金は何とでもなるだらうが、

力が併呑したにも等しい格が

へ落確く、亞路は大個アメリカーへ落確く、亞路してあたが、これも無限 重要鑛物の均断、獲得は 地面は第一に図内の生質を目め メキシコを啓願し始盛を払いで

地部出來る住組みにした、顧物賦集の膨脹は、顧物を受口担へてゐ で あ

ってこれらの個へ出入りし

大原體影

大上問合セラレタ 最低二個六

日間 者

鈛

城 職

業

紹

介

所

一二日、九月四二十歳以上、九月上

行勞 務

大募

集

用者

用 智

の製作期間に沿いても相路短 し得る、全国の対策により た、一般勢務者はかりでなく

を感谢自つ飛躍的に擴充し得 る、かつての如き、 無いのは勿職であるが、八幡 人が老骨に疑うも職員や批告 2 於

とのやうだが印々出來ないとで別りも強いがない、これば吃頭ない、これば吃頭ない。 も舎領所の概い一般で一般の人と 一所のお調をなず上下一致の上 軍だ▲八幡氏初め京役暗氏 **元** した。高温新

リペッチー同様、おいの青刈でい 【ヘアリベッチ』親語のほかに大

劇 劇 養蠶指導三十年

苦鬪史に輝く山田一家

今心な世家環として秋霞

後のとき数数官として朝鮮に出 成のとき数数官として朝鮮に出 は、漢文聲数略的数を提出した。 がは、漢文章数略的数を提出した。 動力で、今日な世家漢として秋霞 哲國史を含いた 人から在りし日の先職者としての 地を毎年時間とて秦田を演奏す。に、戦念と、智及に死めた場合には別が、別なのまで、「十四年間終功観賞を、これに知りを得た氏は別川敷、別、かるまで「十四年間終功観賞をしている。」という。

正五年養職を始めて昭和十四年

|時まで開発||一 城中、政和田三政治を 添城と

全州にて河本特派異記』既然会 全羅北道

(可認物應網種三萬)

・ ・ が選しい雄散版に関力、期に オランダ色を全く傾抗して我

間には何歳に収量が一といっ

タ方ともなれば原住民権観響

原帝語加度部の一年原生合や

と思くば耐には交合くやかな生態を復活して露店を思る原 住民小明人も見るる、祝鮮の

(上) リト質り スープ関リ

コ啸の 東天だけが 汗をふきなマカツサルの午下り、イン ナハナ人母娘らしい、物願かさしてをさまつてゐるのはミ

な生活ぶりを如質に物間つて 下に安居機器する彼等の平和

マカツサル風景

たやうな要師だが、我が何限

ロータに悠然と髪的ひ日傘を人を訪ねての瞬へひかテイガーを訪ねての瞬へひかテイガー

立、ちない一般が

上作機械工業の確立

ため上頭の智楽にも時間がか 要する、しかも操作が複雑な

を育する以用機械が彫動的で使って工作機械も敷和の機能 を採用し得なかつたにもよる 市場が狭ツで、大角生蔵方式

別なる光照下似物な見器を

指摘されてゐた、機械工能の うち比較的疑惑してゐたのは

数価の機能を行するためその 生職に多級の賢材と長期間を

しどしつくり、前級の要割

出來ない、昭衡は一日その遊儀を

山田伍三田の研研を忘れることは

今日あらしめた郷石として会北任で西川田田、秦田中の今は亡を改 北の際りは数多いが、全北震院を

開放的は本消唯一の生活市場で

館時の顕微は「斗十二回の外景気

になった

だい任質部内相指の大変解談

亡人と疑婚正司氏は治時を思心出亡人と疑婚正司氏は治時を思心出

きは今寒へて見る

こゝ室で配り続けたミチンんた流

時だ。云宮も繋ぎず楽のないもない。 のだは窓を振物でやり、暗察に だったで表面を配付して、実備の査と たってやつなりして、実備の査と 大田、大明里、横山里、七個里 がある。

質価には影響などが少からず

機械戦の瞬内市場乃定は輸出である。このことは一つには

きい床回租を必要とし、在を職する。第一に汎用機械は大

配作工程が変れて大事な長器

三分の一方の面対が出來。そ

來る

長が老蝌の凝集を徹して金融

カツチリと引き締めての増

るものと 期待することが

の機能を眺かせようとすれば

は海外線人に依存し、その國は海外線人に依存し、その國

路の影響迅速なる生産を必要

種の機能のうち現實に聞いて

の一葉として取時間を採用す

過酸の開題で航空機用工作機 て質用し得るわけで、取れが の奴用工作機と既能工によっ

の他は避んでかり、また数値

とする現在では野行は全く一

であり年に三回の関を聞くは発露

のための遊覧ではなかつた、各部しかし氏のそれは自分一人の成功

ゆら究風智及に労めた結果、氏の 変名を災めては**運動設置を開き** 常既に似動した部落国は知らり知

今は明南国二十六ケ里の襲撃戸数らずの中に撃撃を始める戦になり

改良に次ぐ改良

自作桑国は全鮮で屈指の成績 し、政武策定地區五百九十五ケ所、 婚題八數一萬二千八百月、桑田榮

黄海道

| 音性楽田歌歌は昭和十四年成以降|| 全歌足するため努力してゐる、而 設可は本年の呼雨道が原年になく

目作義田で飼育のみならず築も自 子、馬九子校に対し四周八千枚は 位の成績を駆け、春秋四歳期の精

十町步である。

瞬途に見る延々職く秦街道、皇帝

町が、家た月級的の扇ド桑田派で、このうち碧城邸は排作戸敷で、このうち碧城邸は排作戸敷で、このうち碧城邸は排作戸敷の上ので、このうち碧城邸は排作戸敷一裏で、変田が積一千六百町が

にもめばず野々と伸びた路は秋の

数らく地下の山田氏の数笑んであ 恐作を保証してあるかのやうだ。

製造関係の如き五町歩の桑田で取 英、改良風清返、市平等であるが み保つてなば飼料不足の心能は密 野び四眼役の間の飼料を十分に脅 といふことにしてゐる、肋臼騒和 市平は一個程度での他は五分々々 の自給は旅裕解々たる神にあり、

数の細胞ある治療を動脈し関係す に依るもの等に分れ、土地の低件 もの及び途離れ合文は殖職の資金 とかは用語る耕作風家で、 見原指根氏方の楽田の如言は単字 作であつたほどだ の競技が整しく倒れて指に見る戦

肥をも行ってある、損悪種欲は出

もない存録である「君」は「協会す 棚敷造四千二百枚を目標とし発掘。田が好成積を駆け、又好成積 前級将兵の心を心として

-李香蘭縣川彌太郎 斯基本局@四三五八番 嚴督 18 城二二五八番 城

遏

鉛 村入照會ラ乞フ。 が淡今二関係ナキ賞、精宗者ニ た災令二関係ナキ賞、精宗者ニ 秋間

商

會

乞御試用

一手販賣

用價值へ廣範頭ニ渉リ射不栓界/決定版トシテ利不栓界/決定版トシテ利不入カラ 性男子 (コルク徐代用品)

京城廣江通信和產業礼 振音中處1885番

力放

生産部間における生産阻害の

機

◆黄麻壺・コルク瓶栓△荷案内♪

路尺

能ではなく、からして生感さ 工作機工業の生産力を一倍は 度に配めることはさして財

秀優 リア店费販 = 市都名有 店ンシミ楠 n九三光電·二路鐘城京

-400 -

横部側、中華民間からも断れた作品が寄せられたが、その四手に近 間の御兵師覚施や前にして敵別的な職部を示し、金融ならびに内地「東京電話」本職物集の《御兵機成の職》は、折機闘型的な半 勇壯の旋律、健兵錬成の歌成る 本の譽を荷ふ

中国に本社は盛んなる優芸演奏者をも計造中である 山内隊長、東海林氏の談

この砂酸は近く本社に到着。東官民の代表者を招待して試験者を明

【東京電路】 [二年的お婚で

三者は解依たる一種となって迫力ある。姆民領成の歌くを完成した

獎學會給費 生の謝恩會

見つけたり寳の山

京畿道に東洋一の螢石鑛脈

の立の増れを得ふ、雑成の潜入教師を上来はいまったが、お財務の一近の研解所行を護く所談書を明くかくて歌展のタクト一関、距離にして家と聞くしき滅ぎが添え。月一所井城所長、北洋水長を中心に豊から、北洋水長を中心に豊か

回復合を翻き朝網総督府東京革命に年から丸の内中州県にはの第一

と激励の探渉あって疑惑自動のだけて頑張って考さい

大谷法主皇軍慰問

数状状脱裂のため割ず災方向作來

る廿四日午後十時五一四分京加路

コタタール人既認では国知の番節 人はお配らの状。京城在他のト

野党

に燃料すると共に完全なる原細語

らい病際

行権に移り和氣魔々種に同四時過

【京都電路】東本駅寺大谷光幕法 る廿四日学第十時立 三三は開戦、解門・北文谷垣の島田 砂で料一ケ月巡葛する駅間の町 、通恒法要製修および削

定数費した

ってみると何うしても各草の最くととした、さて實際に冊を作くととした、さて實際に冊を作くとといる。との意味を思いの意見も叩い概生、成門家などの意見も叩い 画際室を出た軍樂隊長山内少佐は から、 かたって製え続い名曲です、 がたって製え続い名曲です、 がたって製え続い名曲です。 がたっている。

選された場法の入選作には陸中戸田母教作領域の手による作曲を敵

御覇と得される年間音年が戦夷して歌かものなら我々も前親こ

て本船鈴木企副帝長等立前の下に囲れの吹込みを行った、飛兵制度

郷は山内少佐、歌ふは東海林太郎氏窩眞―院軍戸山學校宜樂隊の吹込み

錬成の歌

2 14 た 0

法人

班長は隣接する空城班と

色々な場合特に防空活動の困

離な役や明万、成は防空活動

かりでなく、家庭も空間取り 別継が足りないと役に立たな

い、盆局から命せられた時は 町豊か立派で用具が十分でも

2 切火用水を貼破し、足らぬとごろは補充する、更にあためる容器だ水を禁むして、盗腹管視が設合されても水を暗順する必要がないやうにして、盗腹管視が設合されても水を暗順する必要がないやうにしてが、が、碳その他の防盗用具を貼板し、回用だいが、が、碳その他の防盗用具を貼板し、

島

さきがけて 武くんしめさん

10

ا ا ただ

時局防空必携

野祭、消防官省、牧政所等の登跡開詣所

防空用具の数、位、配置 店動に密支へのないやうに

防盗用服を指る 一、家庭

在にしたり、防営活動の出らすぐ陥る、日むを得ず不

防盗從事者は家に在つて

御絡する
一次が発を残して外出する

現に月極の、000トンといる。 現に月極の、000トンといる。 大したもので担中さくうぶくの。 けないくらでも切断出来るといっ かものである

日本語學校

り趣愉をしてめる所ではす ぐ辿る

四、訓練

火

及いて训材する最しき中央大へと

数七町步、大豆二町步、大郎二町

代用に銃後を守る木材の原理を知

夏国南岛町地主第田森県氏(道 融員)である、氏は水原郡の 胎題の主は京畿道水原郡水

(A) 株式

店店

開拓しこれに既拓地八町歩を含せ 総林聖管内だけでも七十一町歩を 七十九町歩へ馬鈴粥世八町歩、森

対影を放ってゐる山の小阪士があ

院民のひたむきな努力

介……増配に放眠する 十二圓三錢

だ、獅子は生れて三日にして干肉、風歌の少年飛行兵とでもいへるの

と共に起て《と共気閥の企画制部

に極度の激烈きで感けられ。日本 東面共一開端立8個版は他に北

□ 里伊於公公/3年時別鍊成所生一個 「五北經與都化學工藥株式奧社藤原 「五北經與都化學工藥株式奧社藤原

内ノ衆者

るのだ、だが他しいことには適当一内にもこんな活がある の次×に 状態の治級や上場の 附年で、1 に一年で、1 に一年で、1 に一年で、1 に一日三千人 小田田 「人のである、 実を基出機会が開発 を認識し 『田田寛光』」の語を名

いであるのだ、観賞に案朴にあつ たこれら「野生の花」は山の役人 と手柄はただの人夫では日来ない 山の燃線工に成長する、手線の斧

の指導を受けて『……厥長を核心

地獄の冬が決戰場

公民国歌の一節を無意識のうちに し、愛国にして而も和氣傷々た

....I J. 'S

/東せん、同じをのめしを食つ「喧嘩や盗難は出には絶勢にあ

ではあるが、木材がよくすべ

原を語る、智から木挽取と新し当の歌士 り第一関水ダムの工事場等附近の土木工

増産体力の

にとざされる多である、戦略な路一てゐないのである、これがため西

山の戦士室 の最も近し マエ木工事などの人夫達のやうに

重要開着としての米の配給を受け

と人物の世界に生きる人夫婦はま

世界の決戦の時である。山と共に一世、とんな手事ひかこへのみは他 かべ姿現したが、その地景の冬が一環は一日一升版を食ってゐたの

の歌士となるのだ。被害は何の

この試煉に 明へ存をも

に一本の巨木を助す伐木夫へ救林兒は能が五分とたゝないうち 派員發】山で生れ山で称った

で早返館林場の方に類めが勝立
一个が、「配岩作衆場を行う」と図出
一名のみだ。ごれもればこそ歌でき
一般の世界でより、整神的
からのは表は非常でよく、整神的
からのである、深朴に記述にひた
でもが現実があって全く置いてあ
すら働くことを楽しみに生きる山
ます」

さへすれば、と願る聞く世界があ

です、喰ふか喰はれるかといふ。を山の跳地で増減してゐる、感歌のの寒と纏けてくれると天助かり、引き感け北線特流の場約胃その他の寒と纏けてくれると天助かり、引き感じ北線特流の場約胃その他の物語と同じですが、 これをご 出生活主義の会とに今年は特に許

只仕等が脳側に出來]

ねて必断の自信を持つことが

燃え易い危険な物と強い

無い所を敗め、題に説明を言

n r = *

初の名ある東海林太郎氏に枩殿、鰡上田に花を称へるとになった、 たこれを哲解に吹込み、全解の刑符に制ふととし歌手として第一人

文學に强力な提携

滿蒙華代表の通過談

を得み、基本学分に敬いあけま 「明白せて正に大東語文學大学の、基本学分に敬いあります。 20別年には「大学の大学との別様」の 10別年には「大東語文學大学を関する。 10別年には「大東語文學大学を関する。 10別年には「大東語文學大学を関する。 10別年には「大東語文學大学を関する。 10別年には「大東語文學大学を通り、「大学を与しいないない。」」
「大学を表している」」
「大学を表している」」
「大学を持定している」」
「大学を表している」」
「大学を表している」
「大学を表している」」
「大学を表している」」
「大学を表している」」
「大学を表している」
「大学を表している」」
「大学を表している」」
「大学を表している」
「大学を表している」」
「大学を表している」
「大学を表しなっている」
「大学を表している」
「大学を表している」
「大学を表している」
「大学を表している」
「大学を表している」
「大学を表している」
「大学を表している」
「大学を表している」」
「大学を表している」
「大学を表しまする」
「大学を表している」
「大学を表している」
「大学を表している」
「大学を表している」
「大学を表している」
「大学を表している」
「大学を表しなっしなっている。」
「大学を表している」
「大学を表しまする」
「大学を表しなっている。」
「大学を表しなっている」
「大学を表している」
「大学を表しなっている。」
「大学を表しなっ

東の観さへあった、解派には呼本

三時から同衆三階最次に開設者を

変 草本各部浜出席、空流性代スの場がののち県市長から 離毎は自出度く革命して守後は 計画なら出版と革命して守後は はで入としてお師に様すこと、

昭率取日の午後六時十分京城路着、金村削沸の四氏は八日大 のでありで國民服に増明群委も

北、安徽の代表が京城通過北上して、東京の代表が京城通過北上して、東京の代表が京城通過北上して、東京の代表が京城通過北上して、東京の代表が、東京の代表が、東京の代表が、東京の代表が、東京の代表が、東京の代表が 新米大国の文化と日本の文化と は当時を飛想えて結ばるべきで たい、相共に那へて進立う、前 を前機順よう きなく勉照させて聞きまして行戦。

鑛物増産運動に朗報

現何であるが今回をよも品位及び延載がから東洋一を削り移った町木が然らお脳元の京都道内の京都道の大き駅駅にはが海域間かとしても形式の東江はその途径を中域に依依してある。

ところは京畿道照慶郎中頃大船里一てゐたものを本年五月留京城行内一川といふよりは丘に近く眺から探 産運動展開の質ツ只中に暗る快ニュース…… に發見されたといふ——恰も重要厳物非常地

であっている文庫整価を組入られてあったのは他別を代表が公司を行うを表現の長期から一般のようである。 一般が一種といる文庫整価な地では、のうへ見なを機能師の然場所が出来から数石の新出を購入られてあったの地の関係であれている。 大がに乗り対する。

郷末も 組織点の 特殊顕保で各所

たが四内新型町三六六シャムシノ

一、 の の の を の 女子

がない。 「一屋」員、夢、集

朝鮮総督

府總務局國勢調査課

號變更謹告

日ヨリ左記ノ通リ鰻

國報 大軍 伊大 大 大 明 送 入 星

りの必要がなくすべて爾天加とい

明せるだけで り早選採銭したところ現在後に到 一の高品位であることが興 心脏幅廿米、延長百米

ブドラ・ハキモ氏できは京城所事

電話東局の一九〇一番』

曼田商事鳳綿製造部

7-1170

断行を見てゐる、八日には西京城 現在日本〇〇略といる際が当出

**堂生

ノール・ヌグマノフ女史」。ることくなつた「福祉=シャムシ 般を教育し日本的性格を頭割す





防献金、



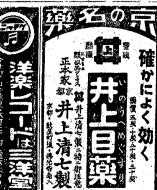


女子從事員募集













る、この配果を早く悪び出せ』と

るのをみつ同面長を訪れ金五百 数の供出後草派により困つてゐ

増し…

を主教とし野婆 を主教とし野婆 を主教とし野婆 を主教とし野婆 を主教とし野婆

金温点配

・ 人工身につけ ・ 人工身につけ

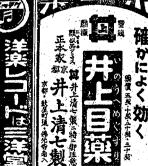


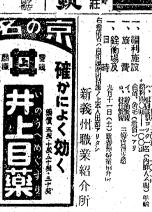












-401-

集

而**原、性原、人科** 新龍山三角地 入院隨意

海州職業紹介



毎月人口を統計

介所長出行の解、來賓説解、除國民後割についで保京城脈绕組

永登浦區で煉炭獎勵にカ瘤

一般であ前で成るべく早く 関ひたいと皆間では一般 混んである 月末までに計畫版の取附けを第一

焚口はそれでよいか!

大方面國に握り、日でも単く電散の大大大な地を混合うと、金融が大部では合うと、金融が大部では合うと、金融が大部では、一部に呈しいる種目収別のが現内をであれた。 は勿論、その他の金融数もありつ衆経の範疇を悉く撤出し直線含器 お明を合せ回収を近施、この概第

の場合の二三倍線度の新や低へは 「たされえか。さつきもいったと この特別は眠る合効な低の金があ 上ろしい。するいふことなら、 製き場合いくんだり

よりして実付けたくいのは日常を

に、その質問を調べ、運ぐたもよ

佐來は年末現住人口を開査して<u>期</u> | 殿員線席して掘行 府政の遂行に萬全策

三

された……差近年度必需物質の 数保管に発売する者が手管リス第 を構放させ行ひ、物質人手機だっ が込んでとの研接品を開催で施す 時間も辨へぬ不機流流が耐々と低 された……最近年活必帰物費の際、大掛りな荷抜呼が世大門場に検知 重役も組む荷拔圏六十名送局

本ベルト、タオル帯が面倒、図 (荷波を) をした上、これを整かな「荷波を」をした上、これを整かな「西黎等」では、 一直のでは、 一面のでは、 一面のでは、

銃後の物資を蝕む不屆者

せやがつたが、しかし客様でもの

て、既つちやあるが、内心也や思 主龍的陰謀的、組織的になってゐ

そして荷物を持つて機能に下り立

同がぞろくい無昼気から出

の奴には氣をつけなきやいけない。

現地

E

の関係の事を伝れた非常國家と

野

安郎(籍)

はたうとう容越したね。

いやうにすることだ。それが一番

頭脳を使ふ者が多いやうだ。お

をあげて加太郎に合副をした。

れたちば、なるべく河脇を健はな

で直接無動液に残付ける時は保部液でしたらよいと思います、若し錆で のに理験上1億半万第二億半の数 比べて同じ形の無型液を幾付ける は新田紙吹はまで有風気に抜けけ おっすると戦立について必なり別 へ過ぎるのもよくないわけだね。 よろしくないよ。 無持を取く持つ

女子接客係募集

記金千代會舘

日本動產火災機

瓣花

給

じ御存

森石松

商業與信祉

みんな早く質的家へかへる

自動車運轉者等

| 別越荷造器 共進組令

青春

传五十一 田 樹間,日

角型范

(日初日 ^{郎 次 保 津 島} **藁** <u>*</u> 香 李

(人) 近年年、会通商の日本資本 (本にりでこの) 国際家代人職会 知名所は監察味に対て必要でなか ある方が(島穴版・1回、東京和小 、1回、東京和小 、20 一部で意じ物が耐酸に大力、 の一部で意じ物が耐酸に大力、 でに関連部末に続するのがであるが 本語は大力の分子を認った。 で何、の後の研究を有べい。 の後の研究を有べい。 で何、の後の研究を有べい。 で何、の後の研究を一あるが 本語供するのがでなく一般の定めので のでもつう。 でもつう。 でもつう。 では、 のでもつう。 では、 のでもつう。 では、 のでもつう。 のでは、 のでは

明治生命 交店

松宮神計事機

計画機関

二十九 間日日。

編め 設駅ス | 乗輪 街 年ス

原義 漢職 愛徳北三七十八 京城 禮 式場 新島師婚具 一式大奉仕

先づ素人がやつても大丈夫と思い

一約一出五六千程度以上取作する見

に抱合を配給をやる如く道府にお木野桃料舗長、 淡行環底のもの

ストープ配給組合等に申込まれる 込でありますので成るべく早目に

ます、一度が付けたら成る可じい

申込ましたら良いと思ひます

整備して 居り、赤に充分に 系統

肢つて唇るが硬であります。

國式、ミクニ式等色々あります、温 突は各道の道路所続の方で資材其 次に盗突焚口には、キイ式、根

冬の燃料とれで行かう

政語を終ることになって居り、不 を指定して居りますが京城府等に 行三十萬個の後日を三ケ年計事で

の内から肌も早周に可取ることが

1 動田放送局質 海藻族は草目 得ない裏は油中に穴を動きて野へ く行かないだらうと感びます。 うからのものは風雨にさられては損失が 本野焼肉種類 色々に細島を麻 海海炎は立いが かっと世間では無燃液が再ないと、 ですが此の私に就である。と世間では無燃液が再ないと、 ですが此の私に就で向か及い方法 人はありませんが

スれて配着することになって居 前にも私から甲上的家した像にど 大部队。自て敷御しない向が多い機ですが

ります、異や雨にざら古礼品に入れて配置することになっ

することが人切でありますが

会と目前では無型液体でないとか。液和角管及の高の原に傾向が取び、大きなな変化になずる変化のほと、本質素和標度、色々と領国を使い物質が変更と思います。一つ無数年度の存む一度で子優になって変

央議院教派年育大概総で関係官域、八十七名に過ぎなかった 府聯旋內地移住工場勞務潛址 勞務者壯行會

(可配物便卵種三角)

て九十五百五十四を目標に各町県一せしめる方針であるが、寒地の場 を通じて班員の申込みを受けたと

職塾に府本職並に各盟役所の戸郷

の取付を脱馴し解炭、粉炭を促用所では寒くならぬうちに改良羨口 放射になってあるので水管循層で 込んで朝候の部辺状況を終くと共常ので代用機器の程報的背及が で八日の各周段階度に係員が乗り

行上強糾が不十分なので、來る十 の統計を開催位でとり所政の阿滑 て出生数、死亡数、月末現住人口 の毎月出生間や労田間とこう

(4月17日7年)と『甘食の後代、本子 一般地と深細熱調は治来の一般能して知らその指揮に置らしめ面正本る条行を押すことになった。如く眠のみに似体することは動態。てあるが、それでも考しくないのかは眼重重視、 関本方法、関本の 下心窓でとう歌歌と実施熱調は治来の一般能して知らその指揮に置られている。 決敗の長期化に伴び糖炭の祭歴が一そこで新たに改良数口指導員

糖原の態度に伴ひ、所内人口の窓時局の態度に伴ひ、所内人口の窓 野がはげしく年末開催では関係途

华尺









都 旅 舘

銀鑞

山口南會

頭痛

・ 人達の夢蕾がの中に林檎を培

琥珀色に澄んだ ニツボン













(霧)京城紙凾社 きれいな紙凾



新いの (で) 570 (で) (で) 570 (で)

妻內科·从紀本· ×光線科 一京城口寺部一世加 京城口寺部一世加 電話光四三六五田

朝鮮油槽船受害

京場劇一第

建築修理

要認所別に 野 組 修 四 修 四 修 四 修 四 修 四

二刀流開眼 蹇 挐 尊 德 本ニュース

特許・商標

荷

場劇陸大場劇洋東

FRONT ! 本日秋米



イナント (富豐庫在)

IL TATO

は、順問題導攻の雙棒系「艦炸命」毎毎節は成所は一向に召される日







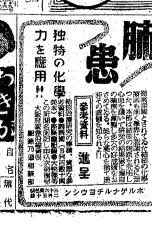


















つき機能会の湯求を受けてあた () 、 国際所生場家養にその原因 が、 国際所生場家養にその原因 () ものでまかく、魔勢筋関節、 切 () のでまかく、魔勢筋関節、 切 () でわり会郎身柄や遊反罪とし () でわり会郎身柄や変易した。

一角 | た衣間べに倒する部が削るさんで、またんというんとは、もとは、あからなき、ゆだんはんを含む | 行家 | 原はなかつたよ。時別窓町だとし | 本来がいたは、そのとしたな。も | 保証 | であた、その中には、あのいや | ぎがあんであるよ。 日来の時は、 | 世代 | であた、その中には、あのいや | ぎがあんであるよ。 日来の時は、 | 世代 | であた、その中には、ありいや | された音に松気がついたむりちゃ | 世代 | であります。 | であった。 | この情報子の質なんてめづらしく

「全くだ。町長も非務長も、すこの役にたつのかね」

い上地で、アメリカ部隊がか何にい上地で、アメリカ部隊がか何に まだ本質に終起がついたわけらや

高級響人下宿冬水江的附宿業、高級響人下宿冬水江的附宿業、 夏家郷所では「行父百里」 店員採用

大子事務員採用

新本計理事務所

城 劇





勝島に思路せしめ一番周部終門洋 會議室で「都市の町郷と地藩附定の死城が穏に十日午後一時から町 錬成所生が献金

府内に公設市第三

を成形は左の強うであると、

設増を場市設公

西州西東西東西東西南西山西

またも胸像の出陣

司をとより出すいとの機能の のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のでは、 のである。 のでる。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のでる。 のである。 のでる。 のである。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 。 のでる。 ので。 ので。 のでる。 のでる。 ので。 。 ので。 ので。 ので。 ので。 。 ので。

九十號=本町四ノ六五、川漁婆東濮田塔山里、木川家岳▲十屆一個十五號=小原所

して就任、大正九年まで十年一塁の加身京城高等普通型校長と

八日大昭奉献日を押して荷車にう、去る一日に同稜座で駅網式を製け

二七七、正木徳太郎▲十二四八

阿校長は明治四十四年化京機中

日の如く半島子弟の教育に西身

守られて海河武宮府に囲ぶる戦権

次氏が作詞、穴場第之助氏が作な時間日、京派放送園の田中初









座富新館花浪





THE REPORT OF THE PARTY OF THE